

第3回 ふじさん てんかん脳波ハンズオンセミナー

ふじさん・てんかん脳波ハンズオンセミナー
代表 井上 有史

てんかんの診療において脳波は不可欠です。しかし脳波を判読する医師は少なく、その養成も簡単ではありません。脳波には血液検査のような“正常値”がなく、判読の積み重ねによってそれを体得しなければならないからです。しかも、教科書や各種セミナーによる教育は必要ですが、それだけでは十分ではなく、適切な指導者のもとで判読の経験を蓄積する必要があります。その指導者の数も現状では十分とは言えません。

本セミナーは、現役で脳波判読を日常的に行っている医師を全国より集め、てんかんの多様な側面にわたる多数の脳波を教材に、少人数のグループ単位による濃密なハンズオンを2日間にわたり行います。てんかん診療に必要な脳波を自由に判読できるだけでなく、初学者に対する指導もできるような、てんかん脳波のスペシャリストを育成することを目的としました。

少人数のハンズオンとするために定員は30名に限定します。各施設からの参加者はそれぞれ1名に限定し、各施設の代表者が推薦する人を優先します。また、JEPICA加盟施設および本セミナーの講師が所属する施設を優先とし、それ以外の施設については先着順とさせていただきます。

日時： 2016/11/26～11/27
場所： 湘南国際村センター
<http://www.shonan-village.co.jp/>
神奈川県三浦郡葉山町上山口 1560-39
046(855)1800
対象： 長時間脳波モニターを行っている施設の医師・臨床検査技師
(背景脳波、アーチファクト、正常亜型などについては熟知していること)
定員： 30名
参加費： 12,000円(宿泊・食事込み。前泊可。)
交通費： 自弁
申込先： ふじさん・てんかん脳波ハンズオンセミナー 事務局
寺田 清人 (kyht-terada@umin.net)

申込期間： 2016/4/1～6/30

共催：全国てんかんセンター協議会、ユーシービージャパン株式会社、日本光電株式会社

Advisory member：Prof. Andrew Bleasel、Prof. Earnest Somerville、Prof. John W. Dunne、Prof. Nicholas Lawn